

静岡県立特別支援学校施設整備規準
(設計資料編)

令和8年4月

静岡県教育委員会教育施設課

設計資料編目次

資料T-1	1
資料T-2	2
部位・部材仕様水準表	2
資料TM-1	13
高等学校における冷暖房設備、換気設備の設置	13

資料T-1

○ 特別支援学校（管理諸室、普通教室及び特別教室等基準面積）

区	分	基準面積 (㎡) ※2			備	考	区	分	基準面積 (㎡) ※2			備	考				
		知的単一のみ	重複含む	肢体のみ					知的単一のみ	重複含む	肢体のみ						
管	理	校長室	52.50	52.50	52.50		特	別	理科室(準)	45.00	45.00	45.00					
		事務室	52.50	52.50	52.50				調理室	67.50	67.50	67.50					
		応接室				校長室に含む			視聴覚室	67.50	67.50	67.50					
		職員室	学校の実情による			(3.39)×教員数			美術室	45.00	45.00	45.00					
		会議室	学校の実情による			(1.99)×教職員数※1			言語訓練室	45.00	45.00	45.00					
		印刷室	26.25	26.25	26.25				生活訓練室	90.00	90.00	90.00					
		職員休養室	26.25	26.25	26.25	男女別			機能訓練室	45.00	123.75	123.75					
		職員更衣室	26.25	26.25	26.25	男女別			プレイルーム	90.00	90.00	90.00					
		教育相談室	26.25	26.25	26.25				クールダウン室	45.00	45.00	0.00	知的のみ				
		行動観察室	45.00	45.00	45.00				図書室	45.00	45.00	45.00					
		保護者控室	0.00	26.25	26.25	肢体のみ			生徒更衣室(小中)	45.00	45.00	45.00					
		看護師、医療的ケア室	0.00	26.25	26.25	肢体のみ			パソコン室	0.00	0.00	0.00	R4設計着手校以降は整備しない				
		介助員室	26.25	26.25	26.25				生徒指導室				クールダウン室とあわせて90㎡以内				
		保健室	52.50	52.50	52.50				食	給	食堂	学校の実情による			知的:(1.36)*知的生徒数+(1)*教職員数※1 重複:(1.36)*知的生徒数+(2.3)* *肢体生徒数+(1)*教職員数※1 肢体:(2.3)*肢体生徒数+(1)*教職員数※1		
		教材室	52.50	52.50	52.50							厨房	154.00	154.00	154.00		
		等	倉	放送室	26.25	26.25			26.25		共	昇	昇降口	学校の実情による			知的:(1.1)*教職員数※1 重複:(1.1)*教職員数※1 肢体:(88.2)
				倉庫	52.50	52.50			52.50				生徒昇降口	学校の実情による			知的:(1.0)*小中知的生徒数 重複:(知的)+(肢体) 肢体:(1.68)*小中肢体生徒数
		小	普通	普通教室(便所有)	学校の実情による				(42)×クラス数	用	階	階段	階数による			(26.25)*階数*棟数*2	
				普通教室(便所無)	学校の実情による				(42)×クラス数			便所	階数による			知的:(52.5)*(階数*棟数)+(52.5) 重複:(80)*(階数*棟数)+(52.5) 肢体:(80)*(階数*棟数)+(52.5)	
普通教室	学校の実情による			(42)×クラス数	エレベーター	階数による			(36.75)*箇所数 面積:2階建ての場合 知的:1校1箇所 肢体:1校2箇所								
高	特	多目的ホール	90.00	90.00	90.00		部	室	廊下	25.00%	28.00%	28.00%	諸室面積計*割合 (知的:幅3m、肢体:幅3.3m)				
		木工室(木材加工室)	90.00	90.00	90.00				※1 教職員数:教員+事務職員								
		組立作業室(工芸室)	67.50	67.50	67.50				※2 学校ごとに「知的単一のみ」「重複含む」「肢体」のいずれかの基準面積を適用する。「重複含む」の場合、知的単一や知的重複は知的生徒、肢体重複は肢体生徒として人数計上し面積を算定する。								
		窯業室(陶芸室)	67.50	67.50	67.50												
		印刷実習室	67.50	67.50	67.50												
		サービス実習室	90.00	90.00	90.00												
		生徒更衣室	45.00	45.00	45.00												
		家庭科室	67.50	67.50	67.50												
		音楽室	45.00	45.00	45.00												
		生徒昇降口	学校の実情による			知的:(1)*高知的生徒数 重複:(知的)+(肢体) 肢体:(1.68)*高肢体生徒数											

○ その他施設基準面積

区	分	基準面積 (㎡) ※2			備	考
		知的単一のみ	重複含む	肢体のみ		
体育館		550.00	550.00	550.00		
プール		250.00	250.00	250.00		
グラウンド		5,000.00	5,000.00	3,000.00	学校教育法第3条に基づく特別支援学校設置基準 (R3施行) による下限値: 3600㎡	
駐輪場		学校の実情による			知的:(1.25)*利用台数 重複:(1.25)*利用台数 肢体:(15)	
部室		-	-	-		

資料T-2

部位・部材仕様水準表 **新築** 特別支援学校 校舎(S造)

機能	部位・部屋	構造・分類	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準	
				A	B	C			
標準	屋根・屋上	陸屋根	保護層	アスファルト防水 改質アスファルトシート防水 (保護工法)	アスファルト防水 改質アスファルトシート防水 (露出工法)		B	B	
標準	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B	
標準	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板・瓦	ガルバリウム鋼板・コロニアル	普通鋼板(スチール)・シングル	B	B	
標準	屋根・屋上	勾配屋根		瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B	
標準	外壁	仕上	躯体	コンクリート・金属パネル	押し出し成型セメント板	ALC・窯業系サイディング	B	B	
標準	外壁	仕上	仕上	タイル・木・高耐久塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B	
標準	外部開口部		サッシ	二重サッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	B	B	
標準	外部開口部		網戸	あり	なし		A	A	
標準	外部開口部		窓	複層スクールテンバ (Low-eあり)	複層スクールテンバ (Low-eなし)	一般複層ガラス (Low-eなし)	A	A	
標準	内部	教室	床	下地	鋼製床組・畳床	木床組・モルタル・シタダー	直貼	C	C
標準	内部	教室	床	仕上	ムクアロリング・フローリング・ブロック	複合フローリング	シート・カーペット・塗床等	B	B
標準	内部	教室	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	A	A
標準	内部	教室	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	直天・塗装	B	B
標準	内部	廊下	床	下地	鋼製床組・畳床	木床組・モルタル・シタダー	直貼	C	C
標準	内部	廊下	床	仕上	フローリング	機能性シート	一般シート・塗床	C	C
標準	内部	廊下	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	C	C
標準	内部	廊下	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	直天・塗装	C	C
標準	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シタダー	直貼	B	B
標準	内部	便所	床	仕上	フローリング	シート(超防汚性)		B	B
標準	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	メラミン不燃化粧板	塗装	B	B
標準	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装	B	B
標準	内部	間仕切	学校間仕切	木製特注	木製規格品	金属製規格品	C	C	
標準	内部	建具	防火戸以外	木製特注	木製規格品	金属製規格品	B	B	
標準	内部	その他	家具什器類	黒板・ロッカー・実験台類	黒板・ロッカー類	黒板・掲示板程度	C	C	
標準	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧	B	B	
標準	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊	一般	なし	B	B	
標準	給排水衛生設備	給水設備	受水槽・高架水槽・ポンプ	高架水槽	加圧	直圧	B	B	
標準	給排水衛生設備	給水設備	配管類	鋼管	鋼管・一部樹脂管	樹脂管	B	B	
標準	給排水衛生設備	給湯設備	給湯方式	中央方式	局所式	なし(電気ポット)	C	C	
標準	給排水衛生設備	ガス設備	配管類	PLP・PLS		鋼管	A	A	
標準	空調設備	冷暖房設備	熱源	中央方式	個別方式		B	B	
標準	空調設備	換気設備	換気方式	機械換気	機械換気(便所)	自然換気	A	A	
標準	空調設備	換気設備	換気量	ビル管理法準拠	学校衛生基準対応	シックハウス対応	A	A	
標準	その他		グラウンド	全体改修	部分改修	改修なし	C	C	
標準	その他		プール	屋内プール	屋外プール	なし	B	B	
付加	学習環境の向上		多目的・オープンスペース、 マイアルーム等	専用スペース	可動間仕切化	なし	B	B	
付加	学習環境の向上		内装木質化 (教室のみ)	床・壁	床	なし	A	A	
付加	学習環境の向上		教室空調 (GHP、EHP)	全体	一部	なし	A	A	
付加	学習環境の向上		トイレ乾式化・ 非接触化	全体	一部	なし	A	A	
付加	省エネルギー対応		全熱交換器	全体	一部(管理諸室のみ検討)	なし	B	B	
付加	省エネルギー対応		屋上の断熱	外断熱(防水)	内断熱(スラブ下) ウレタン50mm	なし	B	B	
付加	省エネルギー対応		外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱 ウレタン50mm	なし	B	B	
付加	省エネルギー対応		自然換気の導入	全体	一部	なし	B	B	
付加	省エネルギー対応		高効率照明(LED)	全体	一部	なし	A	A	

付加	省エネルギー対応	日射抑制ひさし	全体	一部	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	太陽光発電	あり(要検討)	独立基礎	なし	B	B
付加	省エネルギー対応	高効率FF暖房	全体	一部	なし	C	C
付加	バリアフリー化	エレベーターの設置	あり		なし	A	A
付加	バリアフリー化	バリアフリートイレの整備	各所	各階	なし	A	A
付加	バリアフリー化	オストメイト用設備の設置	各階	1箇所のみ	なし	B	B
付加	バリアフリー化	スロープの設置	あり		なし	A	A
付加	防災機能の強化	避難所運営スペース	専用室	兼用	なし	B	B
付加	防災機能の強化	ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし	B	B
付加	防災機能の強化	自家発電設備	あり		なし	A	A
付加	防災機能の強化	井戸	検討		なし	A	A
付加	防災機能の強化	設備二重化	あり(要検討)	一部(事務室等)検討	なし	C	C
付加	メンテナンス性向上	1階水周り下ピット化	全体	一部	なし	A	A
付加	メンテナンス性向上	屋上階段設置	あり		なし	A	A
付加	メンテナンス性向上	PS・EPS・DS設置	あり	一部	なし	A	A

部位・部材仕様水準表 計画保全 特別支援学校 校舎

機能	部位・部屋		構造・分類・対応	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準
					A	B	C		
回復	屋根・屋上			改修範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま	B	B
回復	屋根・屋上			下地処理	撤去工法	かぶせ工法 (荷重計算は必須)	部分補修	B	B
回復	屋根・屋上		陸屋根	保護層	保護防水	露出防水		B	B
回復	屋根・屋上		陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B
回復	屋根・屋上		勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板・瓦	ガルバリウム鋼板・コロニアル	普通鋼板(スチール)・シングル	B	B
回復	屋根・屋上		勾配屋根		瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B
付加	屋根・屋上		省エネルギー対応	屋上の断熱	外断熱(防水)	内断熱(スラブ下) ウレタン25mm	なし	C	C
付加	屋根・屋上		メンテナンス性向上	屋上階段設置	設置		なし	C	C
回復	外壁		仕上	躯体	エンクリート・金属ハネル	押出し成型セメント板	ALC・窯業系サイディング	C	C
回復	外壁		仕上	既存塗膜処理	全撤去	脆弱部撤去	洗浄のみ	B	B
回復	外壁		仕上	仕上	珪ル・木・高耐久塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B
回復	外壁		S・W	改修範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま	B	B
回復	外壁		S・W	外壁材・ハネル	金属・木質系ハネル	押出成形セメント板	ALC・窯業系サイディング	C	C
回復	外壁	バルコニー		床防水	全撤去更新	かぶせ工法	部分補修・保護塗装	C	C
回復	外壁	バルコニー		手摺	全撤去更新	部分補修	塗装更新	C	C
付加	外壁		省エネルギー対応	外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱・ウレタン50mm	なし	C	C
回復	外部開口部		アルミサッシ	改修範囲	全体	一部	既存のまま	C	C
回復	外部開口部		アルミサッシ	アルミサッシ工法	撤去工法	カバー工法	クリーニング・塗装	A	A
回復	外部開口部		アルミサッシ	サッシ	二重サッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	B	B
回復	外部開口部		S・W	開口廻り	SUS、アルミ更新	鋼板更新	既存のまま	C	C
付加	外部開口部		省エネルギー対応	開口部の断熱	Low-eガラス	一般複層ガラス・一部Low-e ガラス	なし	C	C
付加	外部開口部		省エネルギー対応	自然換気の導入	全体	一部	なし	C	C
付加	外部開口部		省エネルギー対応	日射抑制ひさし	全体	一部	なし	C	C
付加	外部開口部		防災機能の強化	ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし	C	C
回復	内部	便所	床	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	B	B
回復	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シスター	直貼	B	B
回復	内部	便所	床	仕上	フローリング	シート	既存研磨・クリーニング	B	B
回復	内部	便所	壁	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	便所	天井	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	便所	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	A	A
回復	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	乾式化	全体	一部(1系統)	なし	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	非接触化(衛生器具)	自動洗浄小便器 自動水栓		なし	A	A
付加	内部	便所	学習環境の向上	非接触化(照明スイッチ)	人感センサー		既存のまま	A	A
付加	内部	便所	学習環境の向上	非接触化(入口扉)	間仕切り・クランク (可能な場合)		既存のまま	A	A
付加	内部	便所	バリアフリー化	バリアフリートイレの 整備	設置(可能な場合)		なし	B	B
付加	内部	便所	メンテナンス性向上	1階水周り下ピット化	全体	一部	なし	C	C

回復	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧	B	B
回復	電気設備	電気設備	分電盤・配線	全更新	部分更新	不具合補修	A	A
回復	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊	一般	なし	A	A
付加	電気設備	省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部	なし	A	A
付加	電気設備	省エネルギー対応	太陽光発電	あり(要検討)		なし	C	C
付加	電気設備	防災機能の強化	自家発電設備	あり(要検討)		なし	C	C

部位・部材仕様水準表 修繕(事後保全) 特別支援学校 施設修繕

機能	部位・部屋		構造・分類・対応	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準
					A	B	C		
回復	屋根・屋上			修繕範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま	B	B
回復	屋根・屋上			下地処理	撤去工法	かぶせ工法 (荷重計算は必須)	部分補修 (建替えに近い場合)	C	C
回復	屋根・屋上	陸屋根		保護層	保護防水	露出防水		B	B
回復	屋根・屋上	陸屋根		防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B
回復	屋根・屋上	勾配屋根		屋根葺材(更新の場合)	ステンレス鋼板・瓦	ガルバリウム鋼板・コロニアル	普通鋼板(スチール)・シングル	B	B
回復	屋根・屋上	勾配屋根		屋根葺材(更新の場合)	瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B
回復	外壁		仕上	躯体	コンクリート・金属パネル	押出し成型セメント板	ALC・窯業系サイディング*	C	C
回復	外壁		仕上	既存塗膜処理	全撤去	脆弱部撤去	洗浄のみ	B	B
回復	外壁		仕上	仕上	タイル・木・高耐久塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B
回復	外壁		S・W	修繕範囲	全体	一部	既存のまま	B	B
回復	外壁		S・W	外壁材・パネル	金属・木質系パネル	押出成型セメント板	ALC・窯業系サイディング*	C	C
回復	外壁	バルコニー		床防水	全撤去更新	かぶせ工法	部分補修・保護塗装	C	C
回復	外壁	バルコニー		手摺	全撤去更新	部分補修	塗装更新	C	C
付加	外壁		省エネルギー対応	外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱・ウレタン50mm	なし	C	C
回復	外部開口部	アルミサッシ		修繕範囲	全体	一部	既存のまま	C	C
回復	外部開口部	アルミサッシ		アルミサッシ工法	撤去工法	カバー工法	クリーニング・塗装	A	A
回復	外部開口部	アルミサッシ		サッシ	二重サッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	B	B
回復	外部開口部	S・W		開口廻り	SUS、アルミ更新	鋼板更新	既存のまま	C	C
付加	外部開口部	省エネルギー対応		開口部の断熱	Low-eガラス	一般複層ガラス・一部Low-eガラス	なし	C	C
付加	外部開口部	省エネルギー対応		自然換気の導入	全体	一部	なし	C	C
付加	外部開口部	省エネルギー対応		日射抑制ひさし	全体	一部	なし	C	C
付加	外部開口部	防災機能の強化		ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし	C	C
回復	内部	教室	床	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	教室	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	教室	床	下地	既存と同材料			A	A
回復	内部	教室	床	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	教室	壁	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	教室	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	教室	壁	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	教室	天井	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	教室	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	教室	天井	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	廊下	床	改修範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	廊下	床	修繕範囲	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	廊下	床	下地	既存と同材料			A	A
回復	内部	廊下	床	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	廊下	壁	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	廊下	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	廊下	壁	仕上	既存と同材料			A	A

回復	内部	廊下	天井	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	廊下	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	廊下	天井	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	間仕切		LGS	全更新・RC面新設	全撤去更新	部分撤去更新	C	C
回復	内部	間仕切		学校間仕切	木製特注	木製規格品	金属製規格品	C	C
回復	内部	建具		防火戸以外	木製特注	木製規格品	金属製規格品	C	C
回復	内部	その他		家具什器類	黒板・ロッカー・実験台類	黒板・ロッカー類	黒板・掲示板程度	C	C
回復	内部	便所	床	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	便所	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	床	下地	既存と同材料			A	A
回復	内部	便所	床	仕上	既存と同材料			A	A
回復	内部	便所	壁	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	便所	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	便所	壁	タイル仕上	タイル張替	タイル再接着	タイル撤去	C	C
回復	内部	便所	天井	修繕範囲	全体	不良部	なし	B	B
回復	内部	便所	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	天井	仕上	既存と同材料			A	A
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(範囲)	全体	一部(必要数)	なし	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(床)	全体	洋式化便器周りのみ	なし	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(工法)	在来工法(はつり)		リモデル工法	C	C
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(配管)	主管まで更新	一部(横引管接続まで)	既存残置	B	B
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(ブース)	取り換え	扉取り換え	扉開閉方向変更	C	C
付加	内部	便所	学習環境の向上	トイレ洋式化(紙巻き器)	更新	一部(1系統)	既存残置	A	A
付加	内部	便所	バリアフリー化	バリアフリートイレの整備	設置(可能な場合)		なし	B	B
回復	電気設備	受変電設備	修繕範囲	全体	全体	不良部	なし	B	B
回復	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	特高	高圧	低圧	B	B
回復	電気設備	電気設備	分電盤・配線	全更新	部分更新	不具合補修		A	A
回復	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊	一般	なし		A	A
回復	電気設備	電力設備	蛍光灯(修繕範囲)	全体	一部(室単位)	なし		B	B
付加	電気設備	省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部(必要部分)	なし		B	B
回復	給排水衛生設備	給水設備	修繕範囲	全体	全体	不良部	なし	B	B
回復	給排水衛生設備	給水設備	受水槽・高置水槽	更新(サイズダウン検討)	全面塗装	部分塗装		B	B
回復	給排水衛生設備	給水設備	ポンプ類(制御盤含む)	更新	オーバーホール	消耗品取り換え		A	A
回復	給排水衛生設備	給水設備	既存配管類	残置(必要個所のみ撤去)		全撤去		A	A
回復	給排水衛生設備	給水設備	配管類	鋼管	塩ビ管・一部鋼管	塩ビ以外の樹脂管		B	B
回復	給排水衛生設備	給湯設備	配管類	鋼管	耐熱塩ビ管	塩ビ以外の樹脂管		C	C
回復	給排水衛生設備	排水設備	屋内配管類	配管・器具全更新	配管・器具部分更新	ポンプ・不具合補修		B	B
回復	給排水衛生設備	排水設備	下水道接続時	既存配管残置		既存配管全撤去		A	A
回復	給排水衛生設備	排水設備	下水道接続時	浄化槽有効活用		浄化槽撤去		A	A
回復	給排水衛生設備	排水設備	屋外配管類	配管・器具全更新	配管・器具部分更新	ポンプ・不具合補修		A	A

回復	給排水衛生設備	ガス設備	器具類	器具更新	器具修繕	器具変更検討(安価)	C	C
回復	給排水衛生設備	ガス設備	配管類	配管・器具全更新	配管・器具部分更新	不具合補修	C	C
回復	給排水衛生設備	消火設備	消防配管類	スプリンクラー	屋内消火栓	消火器	B	B
回復	空調設備	冷暖房設備	機器・配管類	全体	一部(室単位)	なし	B	B
回復	空調設備	換気設備	換気方式	機械換気(窓換気扇)	機械換気(便所)	自然換気	C	C

部位・部材仕様水準表 **新築** 特別支援学校 **体育館**

機能	部位・部屋		構造・分類	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準
					A(高い)	B	C(低い)		
標準	躯体		構造	躯体	SRC・RC	S(鉄骨造)	W(木造)	C	C
標準	屋根・屋上		陸屋根	保護層	保護防水	露出防水		B	B
標準	屋根・屋上		陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水		B	B
標準	屋根・屋上		勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板	ガルバリウム鋼板	普通鋼板(スチール)	B	B
標準	屋根・屋上		勾配屋根		瓦	スレート(コロニアル)	アスファルトシングル	B	B
標準	外壁		仕上	躯体	金属系サイディング (アルミ、ステンレス)	金属系サイディング (ガルバリウム鋼板)	鋼板	B	B
標準	外壁		仕上	仕上	高耐塗装・射熱塗装	耐候性塗料	一般塗装・素地	B	B
標準	外部開口部			アルミサッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ		B	B
標準	内部	アリーナ	床	下地	鋼製床組	木床組		A	A
標準	内部	アリーナ	床	仕上	スポーツフロア床	複合フローリング		A	A
標準	内部	アリーナ	天井	仕上	軽量天井耐震天井	膜天井	木毛セメント板表し	C	C
標準	内部	アリーナ	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	C	C
標準	内部	ステージ	床	下地	鋼製床組	木床組		B	B
標準	内部	ステージ	床	仕上	スポーツフロア床	複合フローリング	既存研磨・ウレタン塗装	B	B
標準	内部	ステージ	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	A	A
標準	内部	廊下	床	下地	鋼製床組・置床	木床組・モルタル・シングル	直貼	C	C
標準	内部	廊下	床	仕上	フローリング	機能性シート	一般シート・塗床	C	C
標準	内部	廊下	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	C	C
標準	内部	廊下	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	直天・塗装	C	C
標準	内部	諸室他	床	下地	鋼製床組・置床	木床組・モルタル・シングル	直貼	C	C
標準	内部	諸室他	床	仕上	フローリング	機能性シート	一般シート・塗床	C	C
標準	内部	諸室他	壁	仕上	木板(腰壁までも含む)	化粧ボード	塗装・クロス	C	C
標準	内部	諸室他	天井	仕上	木質系・岩綿吸音板	化粧PB	直天・塗装	C	C
標準	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シングル	直貼	B	B
標準	内部	便所	床	仕上	フローリング	長尺シート		B	B
標準	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装	B	B
標準	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装	B	B
標準	電気設備		受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧	B	B
標準	電気設備		弱電設備	通信・放送・防犯警備等	特殊	一般	なし	B	B
標準	給排水衛生設備		給湯設備	給湯方式	中央方式	局所式	なし(電気ポット)	C	C
標準	空調設備		冷暖房設備	熱源方式	方式検討(設置はしない)		検討しない	A	A
標準	空調設備		換気設備	換気方式	機械換気		自然換気	C	C
付加	学習環境の向上		屋内走路 床	仕上	スポーツフロア床		一般塗装・素地	A	A
付加	学習環境の向上		屋内走路 天井	仕上	軽量天井耐震天井	膜天井	木毛セメント板表し	C	C
付加	学習環境の向上		半屋外空間	ピロティ・大庇	設置		なし	A	A
付加	学習環境の向上			トイレドライ化	全体	一部	なし	A	A
付加	省エネルギー対応			屋上の断熱	全体	内断熱(スラブ下・ウレタン25mm)	なし	C	C
付加	省エネルギー対応			外壁の断熱	外断熱パネル	内断熱(ウレタン50mm)	なし	C	C
付加	省エネルギー対応			開口部の断熱	Low-eガラス	一般複層ガラス・一部Low-eガラス	なし	C	C
付加	省エネルギー対応			LED照明	全体	一部	なし	A	A

付加	バリアフリー化	エレベーター設置	あり(1機/1校)		なし	C	C
付加	バリアフリー化	バリアフリースイレの整備	各所	一部	なし	C	C
付加	バリアフリー化	スロープの設置	全体	一部	なし	B	B
付加	防災機能の強化	避難所運営スペース	専用室	兼用	なし	B	B
付加	防災機能の強化	ガラス飛散防止	合せガラス	フィルム(Low-eガラス部)	なし(強化ガラス)	C	C
付加	防災機能の強化	自家発電設備	あり(要検討)		なし	C	C
付加	メンテナンス性向上	1階水周り下ピット化	全体	一部	なし	A	A
付加	メンテナンス性向上	屋上階段設置	あり		なし	C	C
付加	メンテナンス性向上	PS・EPS・DS設置	あり	一部	なし	B	B

部位・部材仕様水準表 計画保全 特別支援学校 体育館									
機能	部位・部屋	構造・分類・対応	対象	整備レベル	整備レベル	整備レベル	今回	標準	
				A	B	C			
回復	屋根・屋上		改修範囲	全体	劣化部のみ	既存のまま	A	A	
回復	屋根・屋上	陸屋根	新規防水	保護防水	露出防水	保護塗装のみ	B	B	
回復	屋根・屋上	陸屋根	防水層	高耐久性防水	一般耐久性防水	保護塗装のみ	B	B	
回復	屋根・屋上	勾配屋根	工法	葺き替え	かぶせ工法 (荷重計算は必須)	部分補修、塗装	B	B	
回復	屋根・屋上	勾配屋根	屋根葺材	ステンレス鋼板	ガルバリウム鋼板	普通鋼板(スチール)	B	B	
回復	屋根・屋上			瓦	スレート(コロアール)	アスファルトシングル	B	B	
回復	外壁	S・W	改修範囲	全体	一部	既存のまま	A	A	
回復	外壁	S・W	既存処理	全撤去、張替え	劣化部撤去、張替え	既存のまま	B	B	
回復	外壁	S・W	新規材料	金属系サイディング (アルミ、ステンレス)	金属系サイディング (ガルバリウム鋼板)	鋼板	B	B	
回復	外壁	S・W	塗装	高耐塗装・射熱塗装	耐候性塗料	既存のまま	B	B	
回復	外壁	RC・SRC	改修範囲	全体	一部	既存のまま	A	A	
回復	外壁	RC・SRC	既存塗膜処理	全撤去	脆弱部撤去	洗浄のみ	B	B	
回復	外壁	RC・SRC	新規仕上	高耐塗装・射熱塗装	防水形・弾性塗装	一般塗装・素地	B	B	
回復	外部開口部	アルミサッシ	改修範囲	全体	一部	既存のまま	A	A	
回復	外部開口部	アルミサッシ	工法	撤去工法	カバー工法	クリーニング・塗装	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	アルミサッシ	複層ガラスサッシ	一般サッシ	既存残置	C	C	
回復	外部開口部	アルミサッシ	ガラス	全更新	一部更新	クリーニングのみ	B	B	
回復	内部	アリーナ	床	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	アリーナ	床	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	床	下地	鋼製床組	木床組	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	床	仕上	スポーツフロア床	複合フローリング	既存研磨・ウレタン塗装	C	C
回復	内部	アリーナ	壁	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	アリーナ	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	壁	仕上		有孔合板+塗装	既存塗装	C	C
回復	内部	アリーナ	天井	改修範囲	全体	一部	なし	C	C
回復	内部	アリーナ	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	アリーナ	天井	仕上	軽量天井耐震天井	膜天井	木毛セメント板表し、既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	床	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	ステージ、諸室他	床	既存処理	仕上げ、下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	床	下地	鋼製床組	木床組	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	床	仕上	スポーツフロア床	複合フローリング	既存研磨・ウレタン塗装	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	壁	改修範囲	全体	一部	なし	A	A
回復	内部	ステージ、諸室他	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	壁	仕上	木板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	天井	改修範囲	全体	一部	なし	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	ステージ、諸室他	天井	仕上	全体	化粧PB	直天・塗装	C	C
回復	内部	便所	床	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	床	既存処理	下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C

回復	内部	便所	床	下地	鋼製床組	木床組・モルタル・シスター	直貼	C	C
回復	内部	便所	床	仕上	フローリング	シート	既存研磨・クリーニング	C	C
回復	内部	便所	壁	改修範囲	全体	一部	なし	B	B
回復	内部	便所	壁	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	壁	仕上	木板・化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	便所	天井	改修範囲	全体	一部	なし	C	C
回復	内部	便所	天井	既存処理	仕上・下地撤去	仕上撤去	既存残置	C	C
回復	内部	便所	天井	仕上	化粧ケイカル板	ボード+塗装	塗装・クリーニングのみ	C	C
回復	内部	間仕切		LGS	全更新・RC面新設	全撤去更新	部分撤去更新	C	C
回復	内部	間仕切		学校間仕切	全更新(木製)	全更新(規格品・在来)	部分更新	C	C
回復	内部	建具		学校間仕切	全更新	部分更新	塗装更新	C	C
回復	内部	その他		家具什器類	黒板・等全更新	黒板等一部更新	既存利用	C	C
回復	電気設備	受変電設備	受変電・幹線ケーブル	特高	高圧	低圧		B	B
回復	電気設備	電気設備	分電盤・配線	全更新	部分更新	不具合補修		A	A
回復	電気設備	弱電設備	通信・放送・テレビ・防犯警備等	特殊	一般	なし		A	A
付加	電気設備	省エネルギー対応	高効率照明(LED)	全体	一部	なし		A	A
付加	電気設備	省エネルギー対応	太陽光発電	あり(要検討)		なし		C	C
付加	電気設備	防災機能の強化	自家発電設備	あり(要検討)		なし		C	C

資料TM-1

特別支援学校における冷暖房設備、換気扇、全熱交換器の設置											資料TM-1 (教育施設課)		
区	分	冷暖房設備	換気扇 ※1	全熱交換器	備	考	区	分	冷暖房設備	換気扇 ※1	全熱交換器	備	考
管	理	校 長 室	○		○	B、④、⑤	特	理 科 室	○	○		A、①、③	
		事 務 室	○		○	B、④、⑤		調 理 室	○	○		A、①、②、③	
		応 接 室	○			B		視 聴 覚 室	○	○		A、①	
		職 員 室	○		○	B、④、⑤		美 術 室	○			A	
	室	会 議 室	○	○		B、④		言 語 訓 練 室	○			A	
		印 刷 室	※2					生 活 訓 練 室	○	○		A、③	
		休 養 室						機 能 訓 練 室	○			A	
		職 員 更 衣 室						プ レ イ ル ー ム	○※4			A	
	諸	教 育 相 談 室	○	○		B、④		教 育 用	ク ー ル ダ ウ ン 室	○			B
		行 動 観 察 室	○			B		図 書 室	○	○		B、①	
		保 護 者 控 室	○			B		生 徒 更 衣 室 (小 中)					
		看 護 師、医 療 的 ケ ア 室	○	○		B、②		パ ソ コ ン 室	○	○		A、③	
	等	介 助 員 室	○			B		生 徒 指 導 室	○	○		B、④	
		保 健 室	○		○	B、②、④、⑤		食 堂	○	○		B、②	
教 材 室						厨 房	○	○		B、②、③			
放 送 室						玄 関							
小	普 通 教 室	倉 庫					生 徒 昇 降 所						
		普 通 教 室 (便 所 有)	○			A	ス ロ ー プ						
	中	普 通 教 室 (便 所 無)	○			A	階 段						
		普 通 教 室	○			A	便 所		○		②		
	高	多 目 的 ホール	○			B	エ レ ベ ー ター						
		木 工 室 (木 材 加 工 室)	○	※3		A	廊 下						
	別	組 立 作 業 室 (工 芸 室)	○	※3		A	渡 り 廊 下						
		窯 業 室 (陶 芸 室)	○	※3		A	駐 輪 場						
		印 刷 実 習 室	○	※3		A	他	体 育 館	○			肢 体 の み 空 調 設 置	
		サ ー ビ ス 実 習 室	○	※3		A							
部	生 徒 更 衣 室												
	家 庭 科 室	○			A								
	音 楽 室	○	○		A、①								
部	生 徒 昇 降 所												

※1 換気扇は原則天井扇とする。
 ※2 印刷室、各準備室等へは冷暖房設備及び換気扇は設置しない。将来用として冷暖房設備が必要な場合は、配管スリーブ、電源等の設置を検討する。
 ※3 室の使用法により決定する。
 ※4 廊下一体型のプレイルームなど冷暖房設備の設置が適当でない諸室は設置しない。

設備	設置する室の考え方
冷暖房設備	AまたはBに該当する室
換気扇（天井扇）	①～④のいずれかに該当する室
全熱交換器	①～④のいずれか、かつ⑤に該当する室

判断基準	設置する室の考え方
A	授業で使用する室
B	授業で使わないが使用頻度の高い室
①	内外部の音・光・風の影響を防ぐため、暗幕等を使用する、あるいは窓を閉め切る室
②	食品を扱うなど衛生環境を適正に保つ必要がある室
③	火気を使用し、発する熱により高温になる室
④	秘密情報保護のため、扉・窓等を閉め切る室
⑤	常時（長時間）人が滞在している室